



# 生涯学習の 今後の推進方針



高松市教育委員会

令和4年3月

## 1 推進方針の策定に当たって

本市では、平成30年度以降、「第6次高松市総合計画」、「第2期高松市教育振興基本計画（令和2年度改定版）」の中に、生涯学習・社会教育に関する目標や施策等について盛り込み、生涯学習を推進している。

このような中、人口減少や高齢化を始めとする様々な課題の顕在化や急速な社会経済環境の変化、そして新型コロナウイルス感染症の拡大は、生涯学習・社会教育の分野にも大きな影響を及ぼしており、これらの課題に向け、今後の本市の生涯学習推進における方針を定めるものとする。

## 2 生涯学習を取り巻く現状・課題

- 人口減少、少子・超高齢化の進行
- 人生100年時代の到来
- 社会的包摂、共生社会の実現
- SDGs（持続可能な開発目標）への取組
- 超スマート社会（Society 5.0）の実現
- 脱炭素社会（ゼロカーボンシティ）の実現
- 新型コロナウイルス感染症などの新たな感染症や自然災害の激甚化への対応

## 3 国の指針等

### **H30.12 第9期中央教育審議会答申**

「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の  
振興方策について」

### **R2.9 第10期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理**

「多様な主体の協働とICTの活用で、つながる生涯学習・社会教育  
～命を守り、誰一人として取り残さない社会の実現へ～」

## 4 本市における生涯学習施策の課題

### (1) 生涯学習施設利用者の高齢化等

生涯学習センターやコミュニティセンターにおいては学習機会の充実が図られ、活動も活発になっているが、各施設の利用者は高齢者の割合が多く、新規利用者、取り分け若者や現役世代の参加者が少ない状況である。

### (2) 学習成果をいかせる環境づくり

個人やグループ活動などによる学習の成果を社会や地域でいかせていない人が多い。

### (3) 地域コミュニティにおける担い手不足

人口減少、少子・超高齢化が進行する中、コミュニティ活動の担い手となる人材の育成が課題となっている。

### (4) 今後の生涯学習施設の在り方

新しい時代の学びを牽引していくための役割の明確化、事業の見直しが必要である。

## 5 今後の方針と重点項目

### (1) 方針

人生100年時代が到来し、市民一人一人が、生涯を通じて心豊かに生きがいのある人生を送るためには、多様な学習ニーズに対応できる環境を整えるとともに、住民主体のまちづくりを進めていく中で、若者や中高年層などの幅広い世代がつながり、地域の課題解決に主体的に取り組んでいくための、学びの場やそれをいかす仕組みづくり、人材育成に一層取り組んでいく。

また、深刻化する人口減少への対応として、学校・家庭・地域が連携し、社会全体で子どもを育てる体制づくりや、社会的に孤立しがちな若者や高齢者、障がい者等、様々な理由で社会生活に困難を抱える人々への学びの機会の提供に取り組んでいく。

さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、学習の機会が制限される中、ICTの導入により学習方法も多様化しており、新たな学びの形への転換を図っていく。

### (2) 重点項目

ア

学びを通じた人づくり、地域づくりの推進

イ

社会全体で子どもを育てていくための家庭・地域の教育力の向上

ウ

様々な理由で困難を抱える人への学びの機会の提供

エ

ポストコロナを視野に入れた新たな学びの形への転換

## ア 学びを通じた人づくり、地域づくりの推進

### ①人づくり・まちづくりにつながる学習の推進

- ◆地域の担い手となるコーディネーターの養成

### ②学習成果を地域や社会でいかせる環境づくり

- ◆個々の学びの成果を地域で共有し、将来につながるような地域活動へと発展させていく仕組みづくり

## イ 社会全体で子どもを育てていくための家庭・地域の教育力の向上

### ①地域の教育力の向上

- ◆子ども、若者が地域の課題解決に主体的に取り組む機会の提供

### ②学校・家庭・地域の連携強化

- ◆学校を核とした地域づくり（地域学校協働活動の推進）

## ウ 様々な理由で困難を抱える人への学びの機会の提供

### ①社会生活に困難を抱える若者（ひきこもり、不登校など）や学び直しを希望する人（外国人含む）への支援

- ◆「夜間学級（教室）」導入に向けての検討 など

### ②障がい者の生涯を通じた学びの支援

- ◆知的障がい者への社会生活支援の充実
- ◆ユニバーサルデザインの推進（手話、AI音声文字化）
- ◆「高松市読書バリアフリー計画」に沿った事業の推進 など

### ③デジタル・デバイドの解消に向けた支援

- ◆情報活用能力を取得するための学習（ICT機器関連講座） など

### ④市民ニーズに対応した学習の場の提供

- ◆自主学習スペースの提供

## エ ポストコロナを視野に入れた新たな学びの形への転換

### ①ICTを活用した学習の推進

- ◆オンライン講座の積極的導入（「オンライン」と「対面」を組み合わせたハイブリッド型学習の推進）
- ◆ICT講座の実施 など

## ②情報提供（発信）のデジタル化

- ◆講座のデジタル化、動画教材の活用 など

## ③新型コロナウイルス感染症への対応や新たなパンデミック、自然災害など に対して「命を守る」ための学びの機会の提供

- ◆感染症予防講座、防災教育の実施 など

### (3) 今後の生涯学習施設における事業の在り方

人づくり、まちづくりにつながる学習や、社会的に困難を抱える人への学びなどに軸足を移していくことで、民間等との差別化を図るとともに、新たな学びの形を積極的に取り入れていくことで、多様な学びの機会を提供していく。

#### 生涯学習センター

- ・地域課題解決のための人づくり、まちづくりにつながる学習の推進
- ・生涯学習スタッフ養成講座（コーディネーター養成講座）の実施
- ・社会的に困難を抱える人への学習の場の提供
- ・ICTを活用した学習（オンライン講座の導入）
- ・ICT関連講座の実施（入門講座、オンライン支援講座）
- ・NPO・企業・大学・商店街との連携による学習機会や学習成果の発表の場の拡大
- ・社会教育施設（図書館、美術館）、市民活動センター、総合教育センター、こども未来館との連携

#### コミュニティセンター（生涯学習関連）

- ・地域課題の解決や地域の特色ある学習の推進につながる、人材育成や学習の場の拡充
- ・子ども・若者の地域参画を促す体験学習や交流事業の推進
- ・ICT関連講座の実施